

ヤマトグループ° 連結決算概要 (2020年3月期 第1四半期)



ヤマトホールディングス

2019年7月31日

1. 2020年3月期 第1四半期決算（総括）

増収減益

【減益の主な要因】

- ・働き方改革を進めると同時に推進する体制整備に係る費用の増加
および、前期第4四半期から解消過程にある一過性費用により
営業費用が増加する中、大口法人顧客の取扱数量が想定を下回った
ことや引越サービス休止の影響、BIZ-ロジ事業における減収などにより、
営業利益を押し下げることとなった
- ・（営業外損失）海外関連会社「のれんの減損」

【利益成長に向けた取組み】

- ✓ 「プライシングの適正化」を継続的に推進
- ✓ 集配キャパシティに応じて取扱数量を拡大
- ✓ 一方、大口顧客の取扱数量が想定を下回ることを視野に入れ、
集配体制や備車台数の適正化などのコストコントロールを強化
- ✓ 「アカウントマネジメント」新体制による法人向けソリューション営業を加速

連結営業収益：3,817億（前期差+10億）

連結営業利益：▲61億（前期差▲156億）

2. 2020年3月期 第1四半期決算（総括）

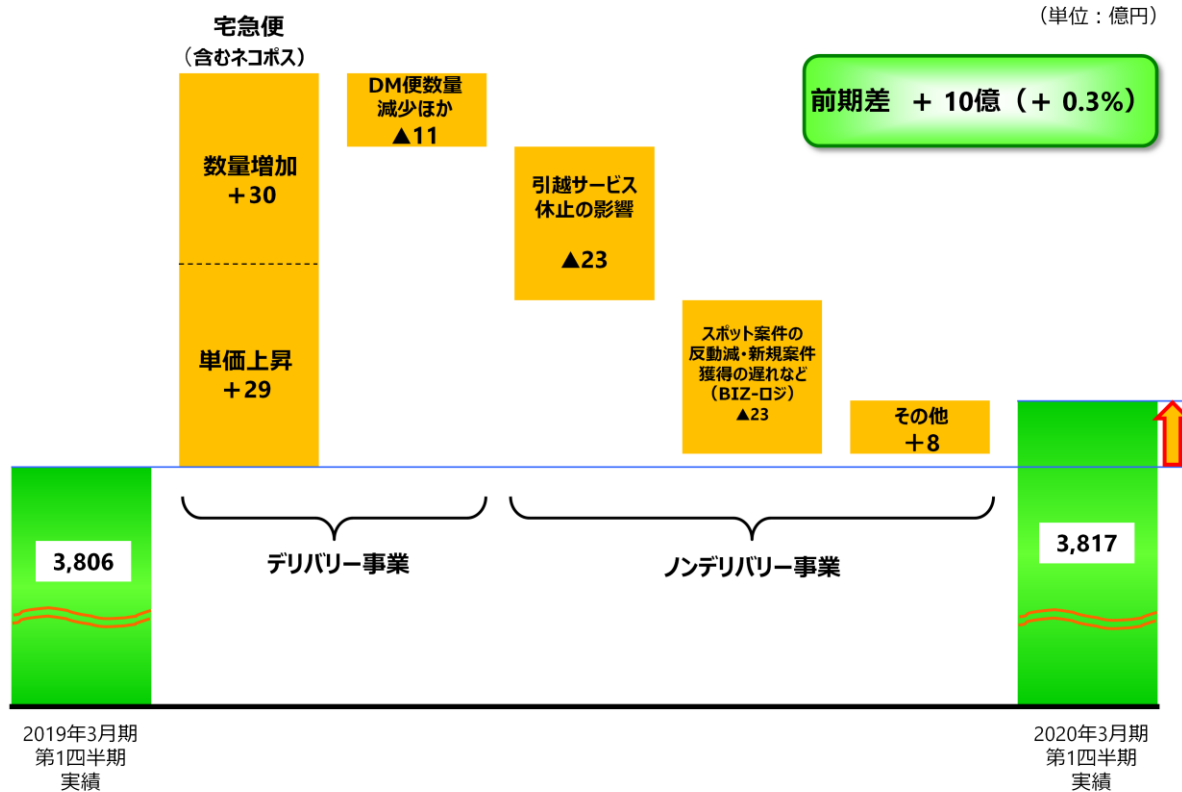
(単位：億円)	2019年3月期 第1四半期 実績	2020年3月期 第1四半期 実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
営業収益				
デリバリー事業	2,991	3,039	+47	+1.6
ノンデリバリー事業ほか	815	777	▲37	▲4.6
合計	3,806	3,817	+10	+0.3
営業利益	95	▲61	▲156	-
(利益率)	2.5%	▲1.6%	-	-
経常利益	94	▲93	▲187	-
(利益率)	2.5%	▲2.4%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26	▲97	▲123	-
(利益率)	0.7%	▲2.6%	-	-

《営業外損益》▲32億（前期差▲30億）

- 営業外収益：6億（前期差▲0億）
- 営業外費用：39億（前期差+30億）
 - ・持分法適用会社の投資損失 33億（前期差+29億）

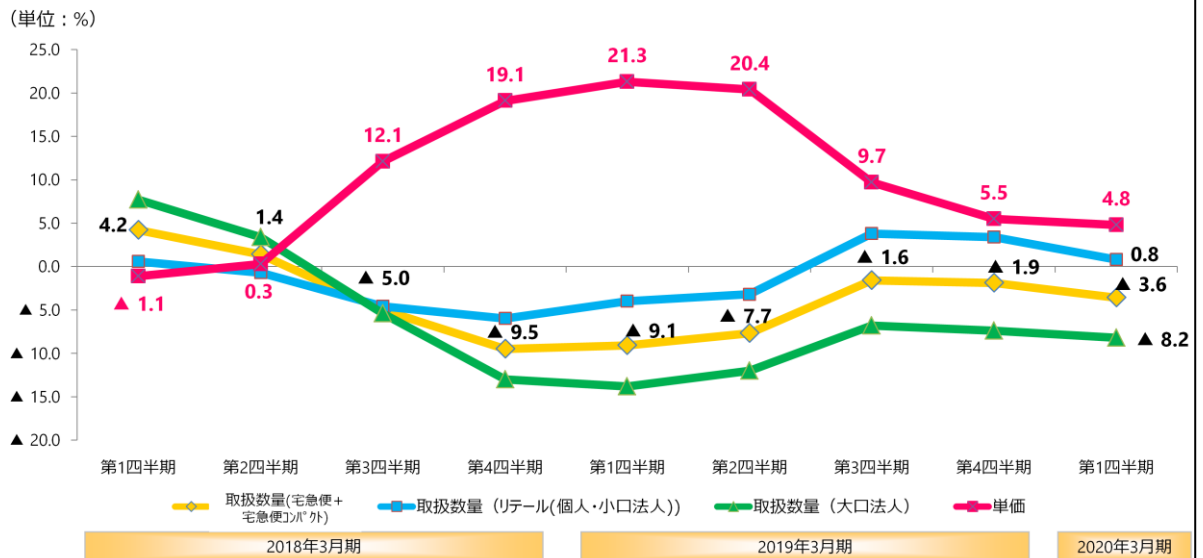
3. 連結営業収益増減分析（第1四半期）

（単位：億円）



4. 宅急便（除くネコポス）数量動向（第1四半期）

宅急便（除くネコポス）の取扱数量は減少、単価は上昇
 （数量：前期比▲3.6% 単価：前期比+4.8%）

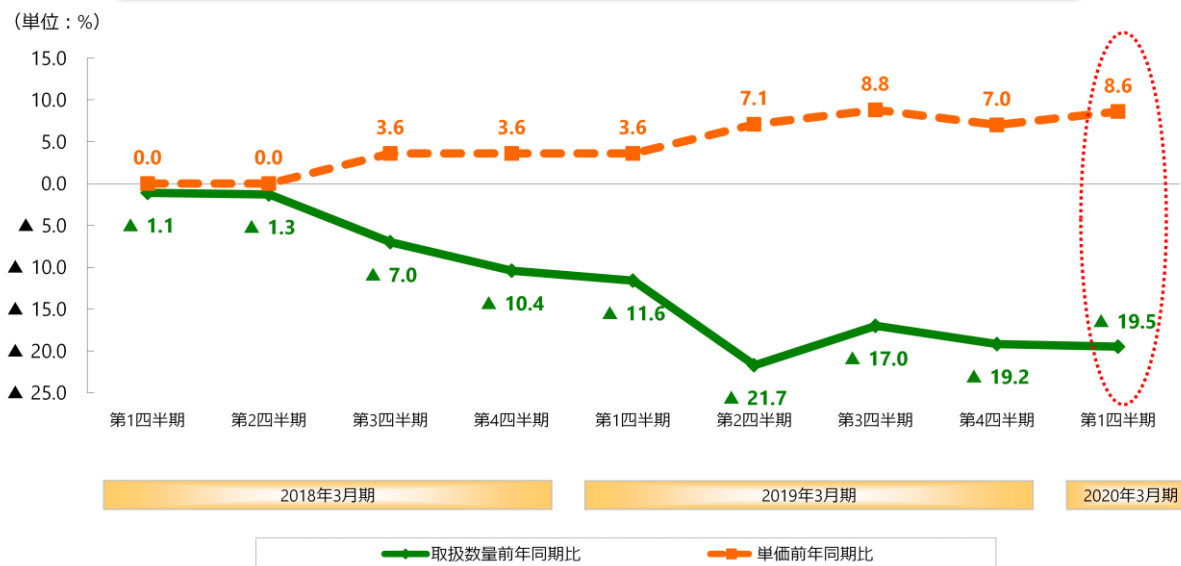


市場別単価動向（第1四半期）

リテール（個人・小口法人）+2.2% 大口法人+6.6%

5. クロネコDM便動向（第1四半期）

取扱数量は減少、単価は上昇
（数量：前期比▲19.5% 単価：前期比+8.6%）



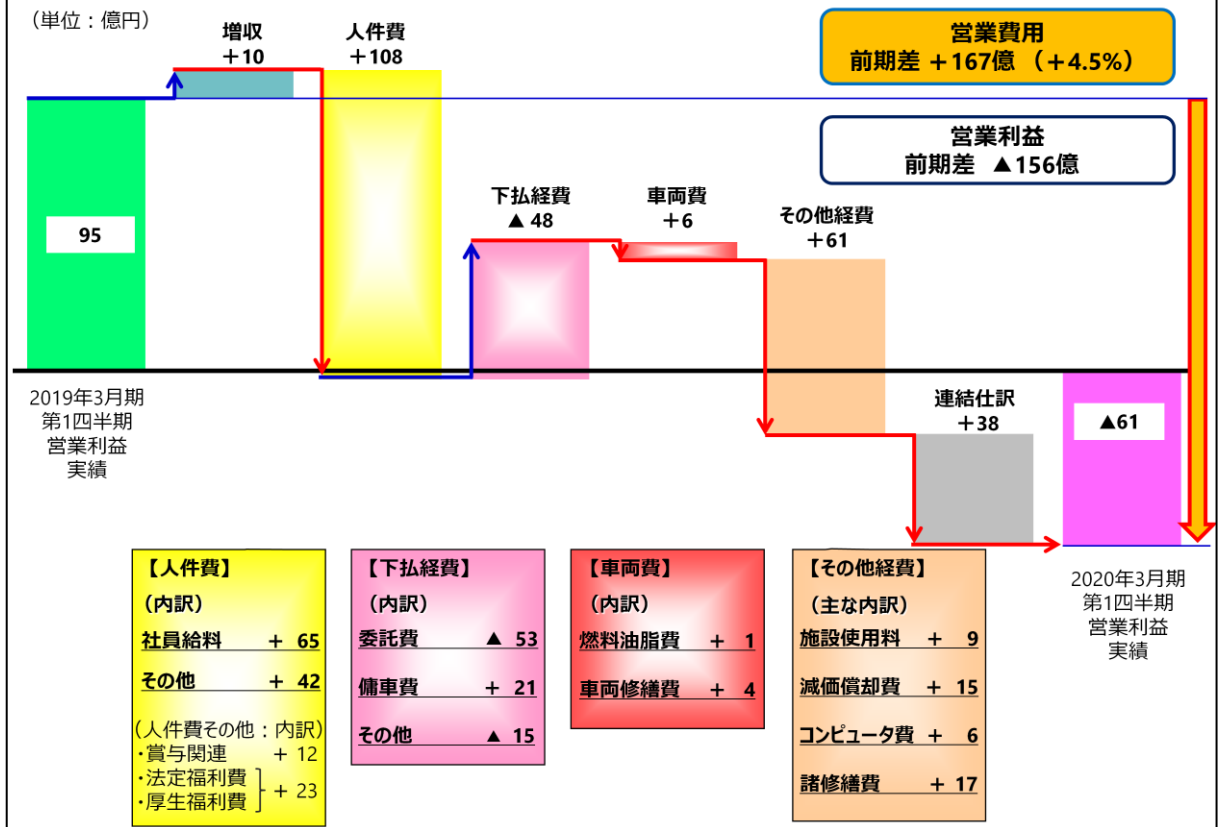
市場別発送数量（第1四半期）

宅急便センター発 ▲18.4% 法人営業支店発 ▲19.9%

市場別発送単価（第1四半期）

宅急便センター発 +6.5% 法人営業支店発 +9.0%

6. 連結営業費用増減分析（第1四半期）



- (1) 人件費 +108億 (+5.5%) : 集配体制の構築に向けた増員など
- ①社員給料 +65億
- ②賞与関連 +12億
- ③厚生・法定福利費 +23億
- (2) 下払経費 ▲48億 (▲3.2%)
- ①委託費 ▲53億 (▲8.5%) : 集配体制整備に伴う外部配達委託の抑制
- ②備車費 +21億 (+4.4%) : 備車単価上昇等により増加
- ③下払経費その他 ▲15億 (▲3.8%)
- (3) 車両費 +6億 (+5.4%)
- ①燃料油脂費 +1億 (+3.1%) : 燃料単価上昇
- (4) その他経費 +61億 (+7.8%)
- ①施設使用料 +9億 (+5.4%) : 流山ベース、宅配便ロッカー利用料など
- ②減価償却費 +15億 (+14.6%) : 主に車両や機械装置など
- ③コンピュータ費 +6億 (+7.0%) : 第8次NEKOシステムに係る費用など
- ④諸修繕費 +17億 (+55.4%) : 「働き方改革」の推進による環境整備など

7. 連結営業費用総括表（第1四半期）

(単位：百万円)	2019年3月期 第1四半期 実績	2020年3月期 第1四半期 実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
営業収益	380,690	381,726	+ 1,036	+ 0.3
営業費用	371,112	387,827	+ 16,715	+ 4.5
人件費	196,727	207,581	+ 10,854	+ 5.5
社員給料	135,851	142,450	+ 6,598	+ 4.9
その他	60,876	65,131	+ 4,255	+ 7.0
下払経費	152,572	147,740	▲ 4,831	▲ 3.2
委託費	62,921	57,562	▲ 5,358	▲ 8.5
備車費	47,731	49,847	+ 2,116	+ 4.4
その他	41,919	40,330	▲ 1,589	▲ 3.8
車両費	11,348	11,961	+ 612	+ 5.4
燃料油脂費	5,604	5,777	+ 173	+ 3.1
その他経費	79,571	85,755	+ 6,184	+ 7.8
減価償却費	10,701	12,265	+ 1,564	+ 14.6
内部消去	▲ 69,108	▲ 65,212	+ 3,896	-
営業利益	9,578	▲ 6,100	▲ 15,679	-

8. 「デリバリー事業」営業費用総括表（第1四半期）

(単位：百万円)	2019年3月期 第1四半期 実績	2020年3月期 第1四半期 実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
			営業収益	299,175
営業費用	292,989	313,764	+ 20,775	+ 7.1
人件費	169,723	180,432	+ 10,709	+ 6.3
社員給料	117,266	123,918	+ 6,651	+ 5.7
その他	52,456	56,513	+ 4,057	+ 7.7
下払経費	88,547	87,578	▲ 968	▲ 1.1
委託費	35,897	32,929	▲ 2,968	▲ 8.3
備車費	45,062	47,645	+ 2,582	+ 5.7
その他	7,586	7,004	▲ 582	▲ 7.7
車両費	10,019	10,700	+ 681	+ 6.8
燃料油脂費	4,615	4,828	+ 212	+ 4.6
その他経費	54,812	61,847	+ 7,035	+ 12.8
減価償却費	7,081	8,685	+ 1,603	+ 22.6
内部消去	▲ 30,113	▲ 26,795	+ 3,317	-
営業利益	6,186	▲ 9,817	▲ 16,004	-

(注) 上記数値は海外宅急便事業に関わる営業費用を含む

9. 2020年3月期 連結業績予想（セグメント別内訳）

(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 期首予想	2020年3月期 今回予想	前回予想比較		前期比較	
				増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
				営業収益			
デリバリー事業	1,297,222	1,350,000	1,350,000	0	0.0	+52,777	+4.1
BIZ-ロジ事業	147,437	153,000	153,000	0	0.0	+5,562	+3.8
ホームコンビニエンス事業	33,404	42,000	42,000	0	0.0	+8,595	+25.7
e-ビジネス事業	26,592	27,000	27,000	0	0.0	+407	+1.5
フィナンシャル事業	79,966	83,000	83,000	0	0.0	+3,033	+3.8
オートワークス事業	25,985	27,000	27,000	0	0.0	+1,014	+3.9
その他	14,705	13,000	13,000	0	0.0	▲1,705	▲11.6
合計	1,625,315	1,695,000	1,695,000	0	0.0	+69,684	+4.3
営業利益							
デリバリー事業	40,787	50,000	50,000	0	0.0	+9,212	+22.6
BIZ-ロジ事業	3,329	4,000	4,000	0	0.0	+670	+20.1
ホームコンビニエンス事業	▲7,764	▲3,000	▲3,000	0	0.0	+4,764	-
e-ビジネス事業	8,740	10,000	10,000	0	0.0	+1,259	+14.4
フィナンシャル事業	6,244	7,000	7,000	0	0.0	+755	+12.1
オートワークス事業	4,433	5,000	5,000	0	0.0	+566	+12.8
その他	19,372	39,000	39,000	0	0.0	+19,627	+101.3
小計	75,144	112,000	112,000	0	0.0	+36,855	+49.0
内部消去	▲16,798	▲40,000	▲40,000	0	0.0	▲23,201	-
合計	58,345	72,000	72,000	0	0.0	+13,654	+23.4
経常利益	54,259	72,000	69,000	▲3,000	▲4.2	+14,740	+27.2
(利益率)	3.3%	4.2%	4.1%	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	25,682	40,000	38,000	▲2,000	▲5.0	+12,317	+48.0
(利益率)	1.6%	2.4%	2.2%	-	-	-	-

宅急便 予想数値

① 宅急便・宅急便コンパクト

・取扱数量	1,690,000千個	(前期比+ 1.3%)
・単価	722円	(前期比+ 2.8%)

② ネコポス

・取扱数量	184,000千個	(前期比+ 36.0%)
・単価	195円	(前期比+ 2.1%)

クロネコDM便 予想数値

・取扱冊数	1,060,000千冊	(前期比▲12.5%)
・単価	63円	(前期比+ 5.0%)

① 営業収益：前回予想から変更なし

ただし、足元の状況を踏まえ、宅急便取扱数量の商品別内訳を変更

宅急便・宅急便コンパクト 1,690,000千個（前回予想差▲10,000千個）

ネコポス 184,000千個（前回予想差+10,000千個）

② 営業利益：前回予想から変更なし

③ 経常利益：前回予想差▲30億

第1四半期で計上した海外の関連会社の減損損失の影響を踏まえ、前回予想を変更

④ 親会社株主に帰属する当期純利益：前回予想差▲20億

経常利益予想の減額に伴い、前回予想を変更

10. 2020年3月期 連結業績予想（営業費用内訳）

(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 期首予想	2020年3月期 今回予想	前回予想比較		前期比較	
				増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
				営業収益	1,625,315	1,695,000	1,695,000
営業費用	1,566,969	1,623,000	1,623,000	0	0.0	+56,030	+3.6
人件費	821,715	880,000	873,000	▲7,000	▲0.8	+51,284	+6.2
社員給料	564,377	608,000	601,000	▲7,000	▲1.2	+36,622	+6.5
その他	257,338	272,000	272,000	0	0.0	+14,661	+5.7
下払経費	629,645	610,000	614,000	+4,000	+0.7	▲15,645	▲2.5
委託費	256,817	237,000	237,000	0	0.0	▲19,817	▲7.7
備車費	201,377	197,000	201,000	+4,000	+2.0	▲377	▲0.2
その他	171,449	176,000	176,000	0	0.0	+4,550	+2.7
車両費	46,656	50,000	50,000	0	0.0	+3,343	+7.2
燃料油脂費	23,981	25,000	25,000	0	0.0	+1,018	+4.2
その他経費	342,602	374,000	377,000	+3,000	+0.8	+34,397	+10.0
減価償却費	51,346	56,000	56,000	0	0.0	+4,653	+9.1
内部消去	▲273,649	▲291,000	▲291,000	0	-	▲17,350	-
営業利益	58,345	72,000	72,000	0	0.0	+13,654	+23.4

業績予想の前提

従業員数（予想）

合計	234,700人	{	前期差	+ 9,575人	(前期比 + 4.3%)	}
フル	100,500人	{	前期差	+ 2,913人	(前期比 + 3.0%)	}
パート	134,200人	{	前期差	+ 6,662人	(前期比 + 5.2%)	}

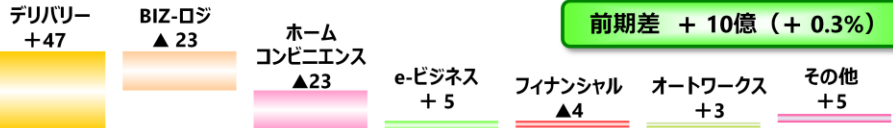
設備投資総額（予想） 85,000百万円

営業費用全体：前回予想から変更なし

- ①人件費 前回予想差▲70億
 社員給料 前回予想差▲70億：足元の採用状況を踏まえ、前回予想を変更
- ②下払経費 前回予想差+40億
 備車費 前回予想差+40億：備車契約単価の上昇等を踏まえ、前回予想を変更
- ③その他経費 前回予想差+30億：働き方改革に関する費用などの増加を踏まえ、前回予想を変更

【参考資料】 連結営業収益増減分析（第1四半期）

(単位：億円)



3,806

1. デリバリー

【宅急便 市場別数量】

国内	
①宅急便(3商品合計)	419,348千個 (+ 0.3%)
②宅急便・宅急便「外」	377,359千個 (▲ 3.6%)
③ネコポス	41,989千個 (+56.9%)
《宅急便3商品合計内訳》	
①大口法人	192,573千個 (▲ 5.2%)
②リテール	226,775千個 (+ 5.4%)
《リテール内訳》	
i)個人	30,215千個 (▲ 1.1%)
ii)小口法人	196,560千個 (+ 6.5%)
海外	
	1,228千個 (▲28.5%)

2. BIZ-ロジ (※1)

【主要サブセグメント動向】

①国際物流	
	▲ 7億 (▲ 5.2%)
(内訳)	
・貿易物流	▲ 5億 (▲ 5.2%)
・その他	▲ 2億 (▲ 5.3%)
②国内物流	
	▲ 19億 (▲ 6.8%)
(内訳)	
・販売物流	▲ 10億 (▲ 8.1%)
・リハ・ロジ	▲ 9億 (▲ 18.6%)
・ヘルスカロジ	▲ 0億 (▲ 1.4%)
・その他	+ 2億 (+ 3.8%)
③消去・その他	
	+ 3億 (- %)

3. ホームコンビニエンス (※2)

【主要サブセグメント動向】

①ホームコンビニエンス	▲ 26億 (▲ 22.5%)
②消去・その他	+ 3億 (- %)

4. e-ビジネス

【主要サブセグメント動向】

①カードソリューション	+ 4億 (+22.1%)
②ITオペレーティング	+ 3億 (+23.6%)
③e-通販ソリューション	▲ 0億 (▲ 1.6%)
④消去・その他	▲ 2億 (- %)

3,817

5. フィナンシャル

【主要サブセグメント動向】

①ペイメント	▲ 5億 (▲ 6.8%)
②リース	▲ 0億 (▲ 0.4%)
③クレジットファイナンス	▲ 0億 (▲ 4.1%)
④消去・その他	+ 1億 (- %)

6. オートワークス

【主要サブセグメント動向】

①トラックソリューション	+ 1億 (+ 1.3%)
②消去・その他	+ 2億 (- %)

2019年3月期
第1四半期
実績

(注) 下記事業の区分変更 (2019年4月1日実施) に伴い、2019年3月期の数値を一部組替

※1. BIZ-ロジ事業

・販売物流サービス、e-ロジソリューションを販売物流として表示

・マルチメンテナンス、テクニカルネットワーク、その他に含めていたセットアップ・ロジソリューションをリバースロジスティクスとして表示

・メディカルロジスティクスおよびその他に含めていたe-オンデマンドソリューションをヘルスカロジスティクスとして表示

※2. ホームコンビニエンス事業

・ビジネスコンビニエンスをホームコンビニエンスに含めて表示

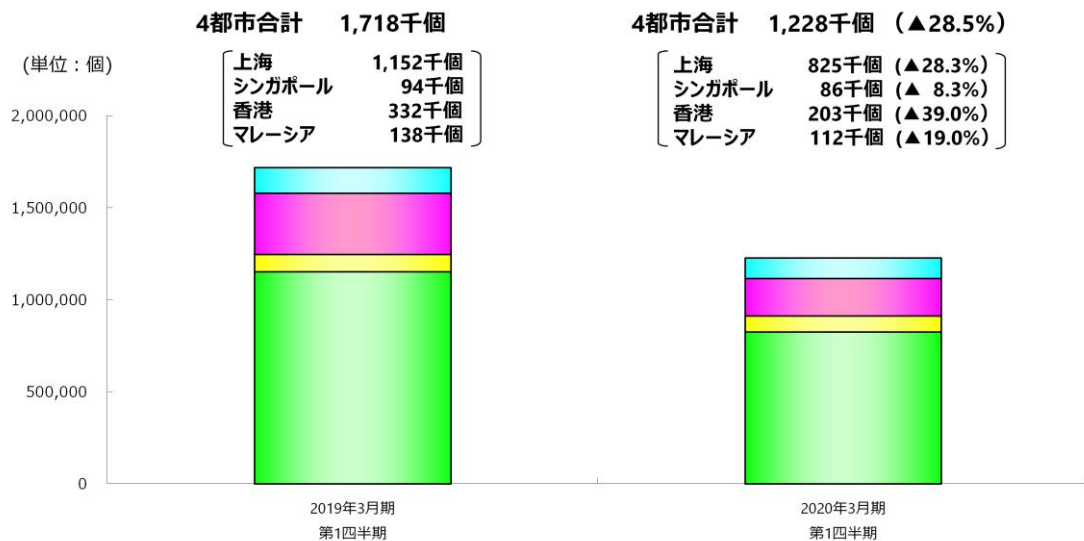
2020年3月期
第1四半期
実績

今期よりBIZ-ロジ事業とホームコンビニエンス事業で一部事業の区分変更を実施

【参考資料】 海外宅急便動向（第1四半期）

「海外4都市（ヤマトグループ直轄）」 取扱数量

■ 上海 ■ シンガポール ■ 香港 ■ マレーシア




「海外4都市+台湾」 取扱数量

2019年3月期
第1四半期実績
27,230千個

2020年3月期
第1四半期実績
26,554千個 (▲2.5%)

不採算取引の見直し等により数量は減少



本資料（解説付き）および説明会質疑応答の議事録は、
PDF形式で弊社ホームページ「株主・投資家情報」でご覧頂けます。

免責事項：この内容は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。提供情報の内容については万全を期しておりますが、完全性、正確性を保証するものではありません。いかなる情報も、不的確な記載や誤植等を含む可能性があります。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご承知ください。